

1.長期成長ビジョン

- ・ 拡大する半導体製造装置需要に対応すべく岩手県奥州市に新工場を建設する
- ・ 積極的な賃上げにより奥州市での雇用を創出し、地域の発展に貢献する

長期成長ビジョン（目指す姿・ビジネスモデル）

- ・ 「半導体製造装置」「社会インフラ用装置」「一般産業用装置」の3分野で事業を展開してきた当社は、世界的な半導体市場の拡大に伴って更なる成長を実現する。
- ・ 岩手県奥州市に新工場を建設し、製造キャパシティを2倍に拡大する。奥州市の新工場建設を機に既存の神奈川県の工場を含めた製造体制を整理し、半導体製造装置事業に偏った状況を見直して社会インフラ用装置、一般産業用装置事業の売上も成長させることを目指す。
- ・ 半導体という新しい時代を象徴する技術を支える、新しい時代の企業として、ゼロカーボンなどのサステナブルな製造体制の実現、生産性向上、多様な人材に活躍してもらうためのLGBTQ+の取り組みを推進し、取引先に信頼を得ながら、技術革新と環境変化に対応できる企業体質を確立して着実に成長する。

会社全体の売上成長目標（～2029年）

- ・ 売上高増加額4,691百万円
- ・ 売上高成長率17.8%

外発的動機

- ・ 当社の主要製品である半導体製造装置向け制御盤が大きく影響を受ける半導体の市場は、年平均成長率5～11%で成長するとされている。主要取引先各社が半導体市場におけるシェアを維持するのであれば、当社への要求も同じ成長率で増加すると言える。
- ・ 半導体業界ではサプライチェーンの最下流にGAFAMがいることなどからも、ゼロカーボンや多様性に対する要求が高い。

内発的動機

- ・ 代表取締役の窪嶋は1997年に当社に入社、新たに半導体製造装置向け制御盤の受注を実現させ、当時従業員約50名だった当社を3倍以上の規模に成長させてきた。半導体製造装置の市場規模の成長はまだまだ続くと確信している。
- ・ 2012年の社長就任後にビジョン策定と人事制度見直しを行い、従業員の内発的動機によってより良い会社になるよう努めてきた。従業員主導のプロジェクトから環境保護やSDGsの取り組みが実現されている。

2.補助事業の概要

- 岩手県奥州市に半導体製造装置事業向けの新工場を建設する
- 半導体製造装置向け制御盤の売上を伸ばすことで、賃上げを実現する

補助事業の背景・目的

- 半導体製造装置市場の拡大に伴って半導体製造装置向け制御盤の引き合いが増加している。現在の神奈川県伊勢原市を中心とした当社の工場ではこの需要にしっかりと応えることができない。

事業費
(補助額)1,387百万円
(338百万円)

設備投資の内容

- 2020年度に「いわて半導体関連産業振興ビジョン」を策定し、半導体関連産業の企業誘致に積極的な、岩手県奥州市の広表工業団地に半導体製造事業向けの新工場を建設する。
- 制御盤製造では広いスペースに制御盤の躯体となる箱を置き、内部にケーブルなどの部品を組み上げていく。このため、大掛かりな工作機械などは必要としない。
- 2018年、2021年、2024年と神奈川県伊勢原市で工場を増設してきたノウハウを活かし、最適な製造環境を整える。

【工場内部のイメージ】



目標値

項目	基準年度	事業化報告3年目
労働生産性 (単位：千円/人)	9,727千円/人	46,613千円/人 (年平均上昇率+68.6%)
従業員1人あたり給与支給総額 (単位：千円/人)	3,818千円/人	4,944千円/人 (年平均上昇率+9.0%)
役員1人あたり給与支給総額 (単位：千円/人)	-	- (年平均上昇率-%)
補助事業に係る従業員数 (単位：人)	11人	39人